

(資料 2020.10.1)

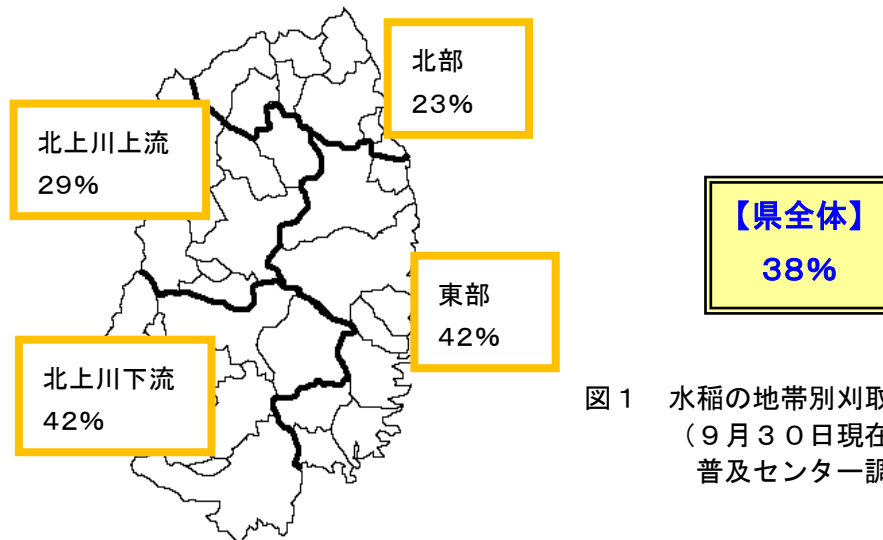
### 水稻の刈取状況（9月30日現在概況速報）について

- 1 刈取始期（10%）は9月23日頃と推定され、平年より1日早い。
- 2 9月30日現在、県全体の38%で刈取りが終了しており、平年に比べ3ポイント早い進捗である。
- 3 地帯別には、北上川上流が29%、北上川下流42%、東部42%、北部23%となっており、北上川下流は平年よりやや早く、その他地域はやや遅い進捗である。

表1 水稻の地帯別刈取状況（9月30日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	9月30日現在進捗(%)		本年(月/日)			平年(月/日)			平年差(日)		
	本年	平年	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
北上川上流	29	35	9/25	-	-	9/23	10/4	10/15	+2	-	-
北上川下流	42	35	9/22	-	-	9/25	10/4	10/12	-3	-	-
東部	42	47	9/21	-	-	9/23	10/1	10/11	-2	-	-
北部	23	29	(9/27)	-	-	9/27	10/5	10/15	0	-	-
県全体	38	35	9/23	-	-	9/24	10/4	10/13	-1	-	-

- 1) 平年値・・・過去10カ年（H22～R1）の平均値
- 2) 刈取作業の進捗・・・10%:始期、50%:盛期、90%:終期
- 3) 県全体の数字は、地帯別の作付面積による加重平均。
- 4) 北部の刈取始期（括弧内）は、一部の市町村で進捗10%に達していないため、推定日を記載。



#### 4 管理のポイント

- ・県内の水稻はほぼ成熟期を過ぎており、刈遅れは着色粒・胴割粒、白未熟粒の混入率を高めやすいので、速やかに刈取りを行うこと。
- ・倒伏した圃場では、作業速度を遅くし、刈分けにより品質確保に努めること。
- ・収穫時期は日没が早まるので、計画的に作業をすすめ、農作業安全に心がけること。
- ・籾の乾燥は二段乾燥を心がけ、玄米水分15%以下に仕上げること。
- ・自然乾燥では、乾燥期間は2週間以内とし、乾燥が不十分な時は乾燥機で仕上げること。

※次回の報告は10月16日（金）の予定です。（10月15日現在の刈取状況）